

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院健診予防医学センターでは、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては受診者様の新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。

また個人が特定されることのないように受診者様のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

口腔機能およびフレイルと動脈硬化関連因子についての研究

[研究の背景と目的]

我が国では急速な高齢化に伴い、健康寿命延伸の重要性がうたわれていますが、健康寿命を阻害する重大な因子としてフレイルと動脈硬化が挙げられます。近年、これに加え、フレイルをより早期から発見する指標として口腔機能低下症が注目されていますが、口腔機能とフレイル、また動脈硬化の関連はいまだ定かではありません。本研究では健康寿命延伸の戦略上極めて重要と考えられるフレイルとその早期発見に重要な口腔機能低下と動脈硬化の3者の関連の包括的検証を行う事を目的とします。

[研究の方法]

対象となる方

2019年7月1日～2019年12月31日までに東京医科大学病院の人間ドック(トータルヘルスケアセンター)受診した40歳以上の男女で、口腔機能検査またはフレイル・ロコモ健診を受診した方。約120人の方を対象とします。

研究期間

倫理審査承認日から2025年3月31日

利用する検体やカルテ情報

カルテ情報から、受診者様の年齢、性別、病歴、口腔機能検査、フレイル検査(フレイル・ロコモティブシンドローム健診、認知機能チェック)、血管機能検査、血液検査などを調査します。

検体や情報の管理

研究実施に係る検体や情報等を取扱う際は、研究責任医師が、すべて受診者様の氏名およびカルテ番号を症例登録番号と対応させ匿名化します。対応表の管理にあたっては、ネットワークから切り離されたコンピュータに保存し、ファイルにはパスワードを設定し、情報管理者が厳重に管理いたします。

[研究組織]

研究責任者:東京医科大学病院 健診予防医学センター 松本知沙

研究分担者:

東京医科大学病院 歯科口腔外科・矯正歯科:近津大地、仲井孝之、長谷川温、濱田勇人

東京医科大学病院 循環器内科学分野:富山博史、椎名一紀、中野宏己

東京医科大学病院 健診予防医学センター:松浦真理

東京医科大学 内視鏡センター 河合隆

東京医科大学病院 歯科衛生士:森光麗子

東京医科大学病院 看護部:高宮志織

研究協力者

桐生大学 医療保健学部:山科章

[個人情報の取扱い]

研究実施に係る試料や情報を取扱う際は、受診者様の氏名およびカルテ番号をすべて匿名化し、受診者様の個人情報とは関係ないコードを付して管理することにより、受診者様のプライバシー保護に十分配慮いたします。研究の結果を公表する際は、受診者様を特定できる情報を含まないようにいたします。

また、研究の目的以外に、研究で得られた受診者様の試料等を使用することはありません。

試料・情報管理責任者:松本知沙

[問い合わせ先]

東京医科大学病院 健診予防医学センター

氏名:松本知沙

電話:03-3342-6111